

この報告書は、災害教訓の継承に関する専門調査会の下に設けた小委員会において検討され、平成16年3月8日に開催された同調査会で承認されたものである。

執筆は、

(主査) 北原 糸子 国立歴史民俗博物館客員教授 (専門調査会委員)  
阿部 安成 滋賀大学経済学部助教授  
伊藤 和明 防災情報機構特定非営利活動法人会長 (専門調査会座長)  
中村 操 株式会社 防災情報サービス取締役  
の各委員が行い、担当は以下のとおりである。

はじめに (伊藤)

## 第1章 安政江戸地震 (中村)

第1節 安政江戸地震の概要

第2節 地震学的実像

第3節 注目すべき被害

第4節 揺れの体験記について

コラム 「地震史料について」 (中村)

## 第2章 災害の社会像 (北原)

プロローグ

第1節 その時、将軍は？

第2節 歴史地震の被害を知る

第3節 緊急・応急対策の諸相

第4節 都市インフラの復旧

エピローグ

コラム 「江戸町会所」 (北原)

「一両はいったいいくらか」 (事務局)

「下りなかった反り橋」 (伊藤)

## 第3章 地震と人びとの想像力 (阿部)

第1節 さまざまな地震情報

第2節 世の再生と日常

第3節 震災と鎮魂

第4節 世相と「国土」への想像

第5節 救済と再生をめぐる神々の顕現

おわりに

コラム 「地震鯨絵を遡る」 (阿部)

「地震と鯨の故事来歴」 (伊藤)

「佐久間象山の地震予知器」 (伊藤)

「メディアとしてのかわら版」 (北原)

まとめ—安政江戸地震と現在の防災— (全委員、事務局)

平成16年3月

内閣府政策統括官 (防災担当)

本報告書のとりまとめは、株式会社 富士総合研究所に委託し、実施した。